

笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

本日、本市職員2名の新型コロナウイルス感染症の感染が確認されました。本市職員が新型コロナウイルス感染症に感染した事例は16、17例目となります。

本市職員16例目は、笠岡市役所本庁舎1階の市民課に勤務する職員です。2月8日(火)に発症し、同日、抗原検査を実施し陽性が確認されました。現在は自宅療養中です。

岡山県の調査では現時点において、職員及び来庁者に濃厚接触者はいないと連絡を受けています。

本市の判断で、本日、市民課の職員6名を対象にNEAR法で検査を実施し、全ての職員が陰性となっています。

市民課フロア及び当該職員の往来のあった場所については、既に消毒作業が完了しており、消毒体制や体調管理など感染予防対策の徹底、在宅勤務などを活用して通常業務を継続しています。

現時点で来庁者に濃厚接触者はいないと連絡を受けていますが、当該職員は、窓口対応を行っている職員であるため、2月7日(月)に市民課に来庁され対応した方については、市から個別に連絡をさせていただき、体調確認やご相談に応じています。

その他、市民課に来庁された方で、発熱や体調不良等がある場合は笠岡市新型コロナウイルス感染症対策本部(0865-69-2222)、岡山県新型コロナウイルス受診相談センター(備中保健所井笠支所:0865-69-1675)又は、かかりつけ医に相談していただくようお願いします。

本市職員17例目は、笠岡市役所第1分庁舎1階の子育て支援課に勤務する職員です。2月8日(火)に発症し、同日、PCR検査を実施し陽性が確認されました。現在は自宅療養中です。

当該職員は、2月中の勤務はなく職員及び来庁者との接触はありません。子育て支援課フロアにあっても既に消毒作業が完了しております。

市民の皆様には、感染予防対策の徹底をお願いしている中、ご心配をお掛けしております。本市にあっては、職員のマスク着用や定期的な消毒及び換気、出勤前の検温、職員自身や家族の体調管理などの感染防止対策に加え、庁内でのクラスター発生により業務が一時停止することがないように、在宅勤務、時差出勤などを実施していましたが、更に在宅勤務を増やすなど対策を強化していきます。

本日、笠岡市で310～316例目の計7名が新型コロナウイルス感染症の新規感染者であると確認されました。本市では、18日連続で新規感染者が確認され、2月に入ってから新規感染者数は59名となるなど感染状況が悪化しています。

県内では子どもの活動拠点である、保育施設や、学校、部活動などでクラスターが発生し、10代までの感染者が顕著に増えています。現時点では重症化しにくい若者中心の感染ですが、徐々に高齢者への感染が増加しており、病床の使用率も高くなり、医療体制がひっ迫する可能性があるため注意が必要です。発熱やせき、喉の痛み、倦怠感など少しでも体調が悪い場合、かかりつけ医や岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）に相談してください。

オミクロン株の急速な感染拡大が続く中、最も効果的な予防法はワクチンの3回目接種です。接種券が届きましたら、御自身のため、御家族のため、ワクチンの種類よりも、スピードを優先して、3回目接種を受けていただきますようお願いいたします。ワクチンの種類を変える「交接種」については、安全性及び高い有効性が認められていますので、安心して接種をしていただけたらと思います。

集団接種は、毎週土曜日の午後と日曜日の午前に天満屋ハピーズ笠岡美の浜店2階で実施しています。

市民の皆さまにおかれましても、一刻も早く感染が収束するよう、これまで同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

令和4年2月8日
笠岡市長 小林嘉文